

2004年度協働事業提案 調整記録

- | | |
|---------|---|
| 1. 提案事業 | 大和市男女共同参画に関する市民意識調査 |
| 2. 日時 | 6月21日(月) 17:30~18:30 |
| 3. 場所 | 聖セシリア女子短期大学 |
| 4. 参加者 | 提案者 大和市 市民活動課 男女共同参画推進担当(高橋、樋田)
提案対象者 聖セシリア女子短期大学(高橋淳子助教授)
推進会議委員 河崎民子委員、渡辺精子委員
事務局 市民活動課(井東、鈴木) |

【調整協議の主な内容】

協働推進会議委員

Q. 聖セシリアは、なぜ協働事業提案を受けたのか。

聖セシリア

- ・大学は第三者評価を受けることが義務づけられている。地域への貢献は重要な評価項目。当大学は、教員3名と職員2名で構成する「生涯学習委員会」を設置して対応している。
- ・これまで、子育て支援等の公開講座を行っていたが、地域で同じような講座が行われるようになり、本校がこれを行う意義が薄れてきた。今年は、保育サマーセミナーとしてリトミックを企画している。今回の協働事業提案を受けたのは、新たな地域貢献活動への取り組みの一環と考えている。
- ・これまでの経過としては、単発ではあったが、昨年、聖セシリアを会場として、大和市と男女共同参画に関するフォーラムを開催した。
- ・男女共同参画というものに対して、専門的に本校で教えていない。これをよい機会として、本学生の意識調査も合わせて行いたい。
- ・本日の話し合いで、聖セシリアの学生や教員等も条例で言う「市民」ということが分かったので、来年度以降、当大学から協働事業提案をしていくことも検討したい。

協働推進会議委員

- ・双方にとってよい効果をもたらすことが期待できる。

Q. 男性の視点はどう入れていくのか。

聖セシリア

- ・市の団体の情報を活かしたい。これから提案者と聖セシリアで検討していきたい。

推進会議委員

- ・どのような行程で調査を進めていくのか。大まかなものでも7月18日の公開検討会までには作成して欲しい。
- ・公開検討会には聖セシリアも出席して欲しい。

【確認事項】

7月18日(日)までに、大まかな行程表を作成する。

聖セシリアと市が調整した内容を担当推進会議委員に報告する。

(記録者：市民活動課 鈴木)